【授業科目】急性看護学演習Ⅳ（看護の諸活動と専門性、看護技術教育）Advanced Seminar of Acute Nursing Ⅳ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
吉田 和枝、奥田 美香 安井 美和、宮原 直美、内山 泉	１年次 後　期	選　択	２	４５	演習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	救命・救急看護における看護ケアの専門性の高い実践力を養う。科学的根拠に基づく 質の高い看護ケアを探求するために文献等を通して相談・調整・システム構築について学修する。 授業は実務家教員（吉田）と実践家 CNS（奥田、安井、宮原、内山）が進める。 課題のフィードバック方法/提出されたレポートにコメントをつけて返却する。授業内のディスカッションを通してフィードバックを行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①高度実践看護師の役割を理解することができる。 ②専門看護師としての理論的基盤を構築するための方法を理解することができる。 ③救命・救急看護の専門看護師としての役割を獲得するための方略について理解することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	配布資料および紹介する文献は授業以外にも読むことで授業の理解を深める（各60 分） 臨床での体験を授業内容に生かし、学びを深める（各60 分） 自らも文献レビューを行い、レポートを作成する（各120 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1時間／１回)（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　オリエンテーション　吉田 ＜高度実践看護師の役割の理解＞ 第 2 回 救命・救急看護分野における高度実践看護師の役割の理解①（講義）救急初療における看護　吉田 第 3.4 回 救命・救急看護分野における高度実践看護師の役割の理解②（演習）事例　吉田 ＜専門看護師の理論的基盤の構築＞ 第 5 回 救命・救急看護分野における専門看護師の理論的基盤：Harmric モデル①（講義）　吉田 第 6・7 回 救命・救急看護分野における専門看護師の理論的基盤：Harmric モデル②（演習）事例　内山 （ゲスト：内山泉 CNS　中部労災病院） 第 8 回 救命・救急看護分野における専門看護師の理論的基盤：Synargy モデル①（講義）　吉田 第 9・10 回 救命・救急看護分野における専門看護師の理論的基盤：Synargy モデル②（演習）事例　安井 （ゲスト：安井美和 CNS 三重大学医学部附属病院） ＜専門看護師としての役割を獲得するための方略＞ 第 11 回 救命・救急看護分野における専門看護師の調整・協働①（講義）　吉田 第 12・13 回 救命・救急看護分野における専門看護師の調整・協働②（演習）事例　吉田 （ゲスト：宮原直美 CNS 総合大雄会病院）　宮原 第 14 回 救命・救急看護分野における専門看護師の教育的活動①（講義）　吉田 第 15・16 回 救命・救急看護分野における専門看護師の教育的活動②（演習）初期対応、トリアージ　奥田 （ゲスト：奥田美香 CNS） 第 17 回 救命・救急看護分野における専門看護師の役割を獲得するためのシステム構築①（講義）　吉田 第 18・19 回 救命・救急看護分野における専門看護師の役割を獲得するためのシステム構築②（演習）　安井 ドクターヘリ搬送における多職種とのシステムの構築（ゲスト：安井美和 CNS） ＜救命・救急看護分野における専門性の高い実践力を養う＞ 第 20・21 回 救命・救急看護分野の理解：救命・救急における看護①（演習）　吉田 重篤な外傷患者の ICU における CNS としての実践力 第 22・23 回 救命・救急看護分野の理解：救命・救急における看護②（演習）　奥田 災害拠点病院における CNS としての実践力　（ゲスト：奥田美香 CNS） 第 24 回 まとめ　吉田
評価方法 評価基準	授業参加状況 10%、プレゼンテーション 40%、課題レポート 40%
教科書	中村美鈴・江川幸二監訳 高度実践看護統合的アプローチ へるす出版
参考書等	適宜提示